

リーダーたちの本棚

Leader as Readers

企画・制作 朝日新聞社広告局 広告特集

L 長く愛され続ける 黄色いクリーム

【率いる】 Leading

先代の野渡良満さんがユースキン製業の前身・瑞穂化学工業を創業したのは1955年。兼営していた薬局の店番をしていたある日、石油系油脂のハンドクリームが主流だった時代に、「べとつかずにもっと手あれに効くものがないか……」という婦人客の声を聞いて開発に着手。化学・薬学の専門家の綿谷益次郎氏の協力を得て、2年後に「ユースキン(現・ユースキンA)」を発売した。ビタミンB2の黄色とカンフル臭が特徴のクリームで、地道な販路開拓によりハンドクリームのトップブランドに成長した。2代目の和義さんは、営業マンとして栃木や群馬のような冬場乾燥する地域や手工業が盛んな地域をはじめ、全国の薬局・薬店を営業車で一軒一軒回った。

「一度ハウスメーカーに就職しましたが、営業成績が上がらずストレスを抱えました。商品に愛着が持てなかったからだだと思います。それを見た父が「うちに来て」と言ってくれ、転職しました。昔は自宅の一階が薬局だったので、ユースキン製業の商品は身近なものでしたが、営業に出てみてリピート購入率や顧客の反響から商品力の高さを実感しました」

厳しい時期もあった。80年代にいち早く妊娠検査薬を導入して薬局での販売に挑んだが、医師に気を使う行政からの「指導」に対して、法律違反ではないと薬局を説得しようやく販売にこぎつけた。その途端、それまで様子見をしていた大小の業者が一斉に参入し、そのあおりで大量の在庫を抱えた。

「親戚が担保を提供してくれて倒産の危機をしのご、このタイミングで父から社長交代を言い渡されました。就任後は輸入製品の取り扱いをやめて自社製品一本で勝負。「ユースキンA」の底力によって2年半で損失を取り戻しました」

ユーザーと社員とともに良品を

就任3年目には、アレルギー体質を改善すると論文で発表された「しその葉エキス」を配合した製品の開発に取り組み、低刺激保湿クリーム「ユースキンS」を発売。シリーズ商品も充実させて軌道に乗せた。

「09年には営業担当から、「3年間で売り上げを2割増の計画を立てました。達成したら社員旅行はハワイに！」と言われ、「利益目標も達成したら家族同伴もいよいよ」と約束。どちらも実現し、社員・家族150人でハワイに行きました(笑)」

昨年は日本医科大と共同で抗菌作用のある緑茶カテキンを使ったうがい液を製品化、口腔ケア市場に参入した。ユースキンシリーズとあわせてクリームは売り上げ増が続き、輸出も増やす計画。生産力増強のため、横浜工場の機能を富山に移転、16年にフル稼働の予定だ。

川崎市の本社も建て替え、本社スタッフ60人がワンフロアのオフィスで働く。野渡さんの机はその中心にあるが、椅子はない。「そのほうが社員が話しやすい。業績書を持ってくる社員を立てて自分だけ座っているのは苦手」という。

書道クラブ、読書会など社内の文化活動を奨励し、自らも参加する。経営信条は、社員が能力を発揮しやすい環境を作ることだ。

ユーザーからのアンケートはがきは、社長以下、全社員で目を通し、製品やサービスの改善につなげている。

■朝日新聞社広告局ウェブサイトでは、野渡和義さんが語るリーダー論を紹介しています。
<http://adv.asahi.com>
朝日新聞 広告 検索



ユースキン製業 代表取締役社長

野渡和義さん

1949年神奈川県生まれ。72年早稲田大学政経学部卒。73年ユースキン製業入社。営業・商品企画畑を歩んだのち、常務取締役を経て88年から現職。

野渡和義さんのおすすめ本棚

『街道をゆく』全43巻 (朝日文庫) 司馬遼太郎・著
『週刊朝日』に1971年から著者が亡くなる96年まで連載された大紀行。国内外の民族と文化の源流を探り、風土と人々の暮らしのかかわりを訪ねる。

『ドラッカーと論語』 (東洋経済新報社) 安富歩・著
経営者の古典とされるドラッカーの「マネジメント」と『論語』の共通点を詳しく解説。現代にも役立つ、東西2人の知の巨人の本質に迫る。

『漢文力』 (中公文庫) 加藤徹・著
漢文に刻まれた古人の思索を道徳体験することによって身につく力。歴史や宇宙の中に自分を位置づけ、生き抜くための設計図をたく力を育てる書。

『祖国へ、熱き心を 東京にオリンピックを呼んだ男』 (講談社文庫) 高杉良・著
日本の経済・文化交流を支えた日系人の激動の半生。敗戦後の日本の復興を米国に印象づけ、東京五輪開催に全力をあげた男の熱き心をつづる。

『下町ロケット』 (小学館文庫) 池井戸潤・著
宇宙工学研究の道を進め、実家の部品製作所を継いだ主人公が、社員とともに日本のものづくりを担ってきた町工場の意地を見せる。直木賞受賞作。

漢字好きは血筋なのか、20年ほど前に70歳を過ぎた叔母が「漢字検定に挑戦する」と言うので、私も触発されて受験し、準1級を取得しました。これを機会に漢字をより深く理解しようと思ったので、中国古典を読むのが趣味だという社員と読書会をすることにしました。とはいえ、素人の二人なのでどうも解釈がおぼつかない。そこで、大学で漢文を教えている知り合いの教授に頼み、月に1回、社内での「論語」の講義をやらせてもらうことにしました。始めてから4年半、受講者は3倍以上になりました。そうした中で個人的に面白く読んだのが、「ドラッカーと論語」です。「論語」における「学而時習之、不亦説乎」は、「学んだことが、ある時身に着いたと感じる喜びのこと」という、テキストとは一味違う解釈に出会い、「ドラッカーの

中国古典に関する読み物では、『漢文力』も心に残りました。博識の著者がソクラテス、キリスト教、キティちゃんなど、古今東西の人や事象と照らして漢文にある教訓を示してくれる書で、環境や戦争といった現代社会が抱える問題への考察としても読みごたえがありました。そして日本人が漢文力を取り戻すことの大切さも感じました。小説もたくさん読んできましたが、日系2世のフレッド・和田勇さんの半生をつづった『祖国へ、熱き心を東京にオリンピックを呼んだ男』は、人にすすめたいと強く思った一冊です。苦勞し

て米国で事業を興した和田さんは、1949年に古橋廣之進ら日本の水泳選手団が全米水泳選手権大会に出場するために渡米した際、自宅を提唱して彼らの活躍を支えました。51年前の東京五輪の招致にあたっては、私財を投じて南米を旅行し、集票に貢献しました。情に厚く勇気あふれる和田さんの言動や行動に胸打たれ、電車の中で涙をこらえて読みました。最後の一冊は、直木賞受賞作『下町ロケット』です。新米水素エンジンを開発した中小企業の社長が、主要取引先から取引終了を告げられ、メインバンクに融資を断られ、ライバル会社から特許侵害で訴えられ、大企業から特許を売られ追われ……と、次から次へと難題にぶつかると。当社も、我がごとのように読みました。当社もかつて、担保主義の銀行や理不尽な行政指導などで苦境に立たされ、あやうく倒産かという厳しい状況に陥った経験があります。正義を信じて大きな権力の押圧に耐え、乗り越えた当社の歴史が本書の内容に重なり、読了して留め、読み終わった本は、社内の目立つ場所に置いています。社員たちのおすすめの本も徐々に加わり、いつしか貸し出しノートが置かれ、今はミニ図書館のようになってきました。社員には、読書による情報の吸収だけでなく、主人公の行動や思いの追体験が重要だと思っています。(談)

私に通った小学校では、毎朝漢字の小テストがありました。これを心待ちにするほど漢字が好きで、中学・高校時代は漢文にも興味を持ちました。やがて漢字づかいの豊かさやリズムの心

地よきに魅せられて司馬遼太郎さんの作品に親しむようになり、馬のひづめの音は「夏夏」と書くと、そんなあれこれを知るとも楽しめました。社会に出てからは、「峠」の河井継之助など、困難に立ち向かう人物たちの生き様を読み、励みにしました。ユースキン製業に入ってから8年間は、地図と名簿を携えて地方の薬局に飛び込

み営業の日々。この時期は、「街道をゆく」シリーズを愛読しました。行く先々で「司馬さんは、この辺りの歴史、特に地形について、こんなふう書いていたな」と追想するのが楽しく、地道な地方回りに張り合っていました。今振り返ると、市場環境の把握という基礎づくりを本書に支えられていた気もします。

正しい行いの美しさと感動が詰まった小説

唱える「ブイードバック」だという説明にも目からうろこが落ちる思いでした。また「インベション」を成功に導く経営には、現実を直視する姿勢、過ちを認める謙虚さ、そして勇気がある」というドラッカーの考え方は、父の唱えた社是「誠実、謙虚、勇断」とピッタリ一致することに気づかされた感動し、より深く理解するきっかけとなりました。いつまでも継承したい経営信念です。

R 漢字好きから始まった読書熱

【読む】 Reading

発売から58年になるハンドクリーム「ユースキンA」をはじめ各種スキンケア製品を製造・販売するユースキン製業。野渡和義さんは2代目社長だ。「地方の薬局の飛び込み営業からスタートし、会社が試験を迎えた時期に社長に就任しました。様々な人生経験の価値や意味を示してくれるのが本です。心に残った本は社員にもすすめています」



て米国で事業を興した和田さんは、1949年に古橋廣之進ら日本の水泳選手団が全米水泳選手権大会に出場するために渡米した際、自宅を提

三笠書房 千代田区飯田橋3-3-1
詳細は <http://www.mikasashobo.co.jp>
（株）ブックライナー（フリーダイヤル）0120-398999
（9:30～19:00）からもご購入いただけます。

知的生きかた文庫 ベストセラー群!!

吉田松陰 5万部
「人を動かす天才」の言葉
樋口義昭
ISBN978-4-8379-8295-1 ●定価(本体590円+税)

2015年NHK大河ドラマの舞台、幕末維新のキーパーソン!

日本は外国人に どう見られていたか 4.5万部
「ニッポン再発見」倶楽部
ISBN978-4-8379-8294-4 ●定価(本体590円+税)

気にしない 練習 たちまち3刷!
元朝不動 密蔵院住職 名取芳彦
ISBN978-4-8379-8309-5 ●定価(本体590円+税)

9日間 おかけまで 王様文庫 15周年!!
「プラスのこど」だけ考えると、人生が変わる (重版出来!)
ISBN978-4-8379- 6735-4 ウェイン・W・ダイアー(著) 山川純矢・山川亜希子(訳) ●定価(本体590円+税)

パンが あなたを殺す

最新刊 医学博士 デレヒッド・パールマター クリストン・ロバーク 著 白澤卓二(訳)

若返りホルモン DHEA が若さを決める!

40代からの 太らない体の つくり方

28万部!

満尾正 医学博士

40代からの 太らない体の つくり方

半年後、あなたはきっとこの本に感謝する!

4週間で 脳からリフレッシュする 驚異のプログラム!

肥満、糖尿病、アルツハイマー病、心の病気……

炭水化物と糖質が引き起こす 炎症で、脳は腫れだしている。認知症が増加すると、コレステロールを下げる。白砂糖、チョコバー、バナナ、全粒小麦パン……どれもが、脳にダメージを与えている。肉類、脂肪を避けていると、何が起るのか

ニューヨーク・タイムズ紙、アマゾンUS (アルファベット部門 2014年7月) ベストセラー No.1 席巻!

「お金」「幸せ」「人脈」「時間」「自由」… を得られる最高の生き方! ロスチャイルドらの「思考法」と「習慣」が身につく実践プログラム

発売6週間 3万部突破!

世界の大王豪 2000人がこっそり教えてくれた

3週間で 人生を変える法

トニー野中

世界の大王豪 2000人がこっそり教えてくれた 3週間で 人生を変える法 トニー野中

ロスチャイルドの「思考法」と「習慣」が身につく実践プログラム

珠玉の言葉が、あなたの中に革命を起こす!

- 「君の夢は、いったい何だい? お金だけで人は幸せにはなれないよ」
- 「自分が本当に望むものを見分けるんだ!」
- 「嫌いなことなんてやっていて、成功できるわけがない!」
- 「成功者のアドバイスを、素直に聞き入れなさい」
- 「昨日と同じことをやり続けても、明日は何も変わらないよ」

…そして思考が現実になる。